

有望で妙味のある
ニラの周平氏

埼玉県専門技術員 大鹿保 ラの周年栽培

%) となつてゐる。これからみれば主産地は近郊地带であることが

その消費は
の多い多く
る。県内の

二、ニラの栽培
経営上の特徴

(イ) ニラは歎弱野菜であり、市場に近い風地に発達する。やわらか葉を切つて出荷するので電車によつて運ばれる。

離の輸送は因難である。現に千葉県でも柏市、船橋市に多く、埼玉県でも東部の野菜出港で陸地が点々としている。

が、食生活でだんだん（口）煙の利用度が低く、經營規換の大さいの喫煙者が減少している。

一度植つけたニラは三、四年利用される。しかし同じ畑で年出荷量は二〇〇kgであるなどである。

であり、約六割培
培（春刈り、夏刈り、秋刈り）トシ
と表
ネル栽培（秋末、春先）促成栽培
二郎は、
好調で年々
等の栽培様式に応じて畠を区分し
といふ品

三〇円以上で使用する。こうなれば二ラ畳もある程度の広面積が必要になる。
(八)裁培技術はやさしく初心者でも、ある程度の知識があると、うまく、そのほど出荷量は三

(一回参照)も失敗することがない。二郎は雨中心として寒性耐暑性強く、作り方もやさしい。広幅のもので戦時中商品価値も高い。

(二)病害に強い作物である。二
種には致命的な病害虫もなく、ア
ーラムシが発生する程度である。
玉(四・六)
が強いが、改慶山の在来種は、
船橋市

諭が着任

御指導をいただき心身とも健全な
少年にして下さるよう御協力をね
願い申上げます。 (記・川上) 氏より鉄道

八幡小だより
（その三）
わました
四月八日

美川、一〇
渡辺、二
本年度の学校環境整備に力を入
生百四名を加えて出発しました。
た。

た。学級ニユースを「三」でお伝え致します
め特別教室（その一）

第1表ニラの出荷統計(東京市場)

備 考	期 間	定 額	促 進 販 賣 使 用
春秋の九月上旬～十月下旬、 冬至の三ヶ月間は、販賣額の半額を 支拂ふ。	一 年 期 間	九 三 一 四 月	一 年 期 間
二月は、太陽の氣が行なはる。わ れる程度の温風の物である。早く 出でしが能く。なる。被服は、一 月の半額を貯めよ。	四 年 期 間	九 三 一 四 月	四 年 期 間
二月は、太陽の氣が行なはる。わ れる程度の温風の物である。早く 出でしが能く。なる。被服は、一 月の半額を貯めよ。	同 上	九 三 一 四 月	同 上
(1) 販賣規則 被服は、被服(古株)。 被服は、被服(古株)。 被服は、被服(古株)。	四 年 期 間	九 三 一 四 月	四 年 期 間
被服は、被服(古株)。 被服は、被服(古株)。 被服は、被服(古株)。	同 上	九 三 一 四 月	同 上
被服は、被服(古株)。	同 上	九 三 一 四 月	同 上